

## 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび下記検査項目におきまして、検査内容を変更させていただき  
たくご案内いたします。  
何卒ご了承賜りますようよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■ 実施日 2020年4月1日(水) ご依頼分より

■ 変更項目

検 査 項 目	遊離HCG-β (HCG-βサブユニット) (血中)
	遊離HCG-β (HCG-βサブユニット) (尿中)
	シアリルLe <sup>x</sup> -i抗原 (SLX)
	レニン定量 (活性型)
	アルドステロン/レニン活性比
	アルドステロン/レニン定量比
	FLT3 変異解析ITD/TKD
	直接クームス試験
	不規則性抗体 (抗体同定・抗体価測定)
	ABO・Rh(D因子)式 血液型

●変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
08257	遊離HCG-β (HCG-βサブユニット) (血中)	検査方法	RIA 固相法 (IRMA)	RIA 固相法	より詳細な検査方法表 記への変更
01396	遊離HCG-β (HCG-βサブユニット) (尿中)	検査方法	RIA 固相法 (IRMA)	RIA 固相法	
52046	シアリルLe <sup>x</sup> i抗原 (SLX)	検査方法	RIA 固相法 (IRMA)	RIA 固相法	
56315	レニン定量 (活性型)	検査方法	RIA 固相法 (IRMA)	RIA 固相法	
		報告範囲	2.0 <u>未満</u> 、2.0~ <u>390</u> 、 400 以上	2.0 以下、2.0~400、 400 以上	報告範囲の再設定
63571	アルドステロン/レニン活 性比	報告範囲	(レニン活性) 0.1 <u>未満</u> 、 0.1~99000000	(レニン活性) 0.1 以下、 0.1~99000000	レニン活性の報告範囲 の再設定
63588	アルドステロン/レニン定 量比	報告範囲	(レニン定量) 2.0 <u>未満</u> 、 2.0~99000000	(レニン定量) 2.0 以下、 2.0~99000000	レニン定量の報告範囲 の再設定
		所要日数	2~5日	5~7日	所要日数の短縮
28758	FLT3 変異解析 ITD/TKD	備考欄	凍結保存は避けてくださ い。受託可能日は月~金曜 日です。他項目との重複依 頼は避けてください。本検 査方法ではコンタミネー ションの影響がより大き くなりますので、検体採取 にあたっては取り扱いに充 分ご注意ください。 <u>本検査は、EDTA-2Na 入 り採血管 (PN5) によるご 提出も可能です。</u>	凍結保存は避けてくださ い。受託可能日は月~金曜 日です。他項目との重複依 頼は避けてください。本検 査方法ではコンタミネー ションの影響がより大き くなりますので、検体採取 にあたっては取り扱いに充 分ご注意ください。	添付文書改訂による採 血管種類の追加
		報告範囲	(ITD SIGNAL RATIO) 骨髄液 0.05~ <u>99.99</u> 血液 0.05~ <u>99.99</u> (TKD SIGNAL RATIO) 骨髄液 0.05~ <u>99.99</u> 血液 0.05~ <u>99.99</u>	(ITD SIGNAL RATIO) 骨髄液 0.05~9.99 血液 0.05~9.99 (TKD SIGNAL RATIO) 骨髄液 0.05~9.99 血液 0.05~9.99	報告範囲の再設定
03450	直接クームス試験	案内書欄外	血球を使用する検査におき ましては、凝固促進剤、分 離剤入り容器の使用の際、 偽陽性または異常反応を示 す場合がありますので、 <u>血 液材料は必ず指定容器 (EDTA-2Na 加) での提 出をお願いいたします。</u>	血球を使用する検査におき ましては、凝固促進剤、分 離剤入り容器の使用の際、 偽陽性または異常反応を示 す場合がありますので、必 ず指定容器での提出をお願 いいたします。	欄外説明文章の追加
03474	不規則性抗体 (抗体同定・抗体価測定)				
03435	ABO・Rh(D 因子) 式 血液型	検査方法	マイクロプレート法	カラム凝集法	機器老朽化による機器 試薬変更に伴う検査方 法名称表記の変更